

## 上都賀地域



### わたしたちも応援しています

— とちぎのふるさと田園風景百選応援団 —



作曲家  
船村 徹さん

田園の風景は、自然との調和の上に、先人達が長い年月をかけて創り上げてきたもので、時代を超えて生き続けるべきものです。

住まう人はもちろん、巣立った人にとっても心の原点である「ふるさとの田園風景」について、県民の皆様と一緒に考えていく田園風景百選を応援しています。



絵本作家  
いわむらかずおさん

田園風景が美しく輝いて見えるのは、そこに、農業を中心とした人々の心豊かな暮らしと、多様な生き物たちの命の営みがあるからです。私たちは身近な栃木の自然と文化の素晴らしさを再発見し、次の世代へと引き継がなくてはなりません。



画家  
安藤 勇寿さん

誰もが自慢の「私の風景」を持っていると思います。それを県民一人一人に知ってもらえれば、全国に栃木の底力を知らせる事にもなります。皆さんから届く風景は、きっと、一枚の絵にして残したくなるに違いありません。

- 鹿沼市
- 11 板荷
- 12 亀和田町
- 13 見野
- 14 入粟野
- 15 中栗野
- 16 中粕尾
- 17 永野

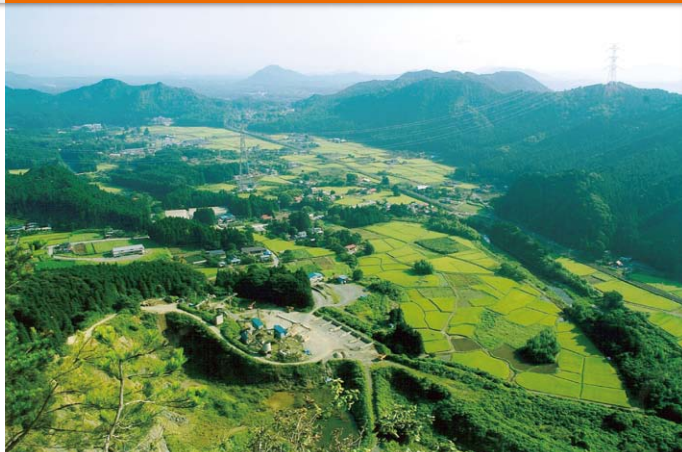
- 日光市
- 18 大室
- 19 小百
- 20 瀬川
- 21 瀬尾
- 22 森友
- 23 南小来川
- 24 土呂部
- 25 野門
- 26 藤原

とちぎの田園  
ふるさと風景百選

## 11 板荷

## 清流黒川の恵み

鹿沼市と日光市の山間部を流れる清流黒川は、自然豊かな板荷の水田地帯を潤しています。



## 村祭り アンバ様

板荷のアンバ様は150年以上もの歴史を持つ伝統行事で、毎年3月、アンバ様の鎮座した神輿が板荷地域の全戸を回り、悪魔払いと春の事触れ(ことぶれ)を行ないます。



## 代掻き作業と夕日の笹目倉山

田の水面に映る夕日と均整な笹目倉山の背景がとても幻想的です。



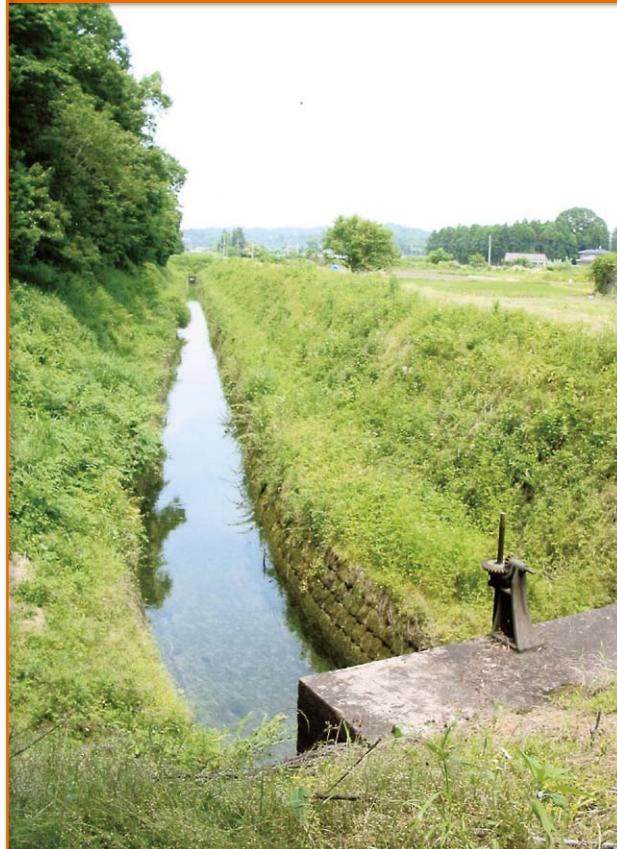
県中西部、鹿沼市の北部に位置する板荷。緑豊かな山々に囲まれた農村集落で、地区の中央を清流黒川が流れています。地元の小学校の隣には、黒川の水を引き込んで造られた天然のせせらぎプールがあり、夏になると子どもたちの元気な声が響き渡ります。

## 12 亀和田町

とちぎの田園  
ふるさと風景百選

## 悠久の流れ 小藪集水渠

小藪集水渠は、地域の水不足を解消するため思川左岸に造られた地下水を取り入れるための農業用施設です。昭和8年の建設から80年を経過した今でも涸れることなく、農地の重要な水源として利用されています。



県中西部、鹿沼市の南部に位置する亀和田。思川の東には平坦な農地が広がり、稲作を中心にイチゴ、ニラなどの施設園芸が盛んに行われています。また、この地域では、飼料用米の栽培が行われるなど、水田の有効活用に向けた取組が進められています。

## 初夏の田舎風景

西鹿沼の山並みを背景に、緑豊かな初夏の田園風景が一面に広がっています。



## 黄金米収穫期が間近



県中西部、足尾山地の麓にある鹿沼市 見野。黒川なめかわと行川に挟まれた扇状地にある田園地帯で、ふるくは日光山領 66 郷のひとつ“美濃郷”といわれていました。この地域では、一度途絶えた伝統芸能「見野囃子蓮」が復活し、地域の結びつきを強めています。



## 彼岸花の群生

入粟野には地域住民が丹精を込めて育てた 1 ha 以上もの彼岸花群生地が広がっており、開花時期には県内外から多くの人々が訪れます。

## 山間のそば畑

入粟野はこんにゃくの特産地ですが、今では遊休農地を活用したそばの栽培が盛んに行われています。



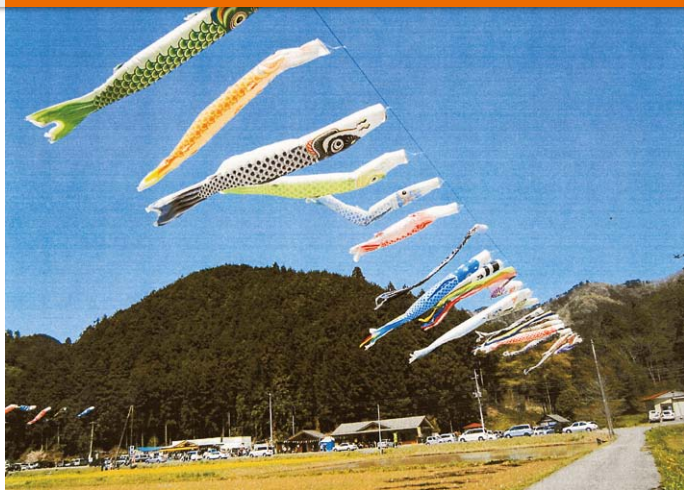
県西部、鹿沼市の西に位置する入粟野。地区内を流れる粟野川をさかのぼるにつれて険しくなる山並みには、水量豊かな川の音がとどろきます。上流には、数多くの高山植物が自生し、別名「小尾瀬」とも呼ばれる横根山井戸湿原があり、動植物の宝庫として知られています。

とちぎの田園ふるさと風景百選

なかあわの 15 中栗野

遊の郷こいのぼり

中栗野にある遊の郷直売所では、毎年4月に春の遊郷祭が開催されます。一面に広がる菜の花の上を、美しい新緑と青空の中ゆうゆうと泳ぐこいのぼりの姿は気分爽快です。



小金沢親水公園の水車



栗野に吹く秋の風



県西部、足尾山地の麓にある鹿沼市 中栗野。山あいの清流栗野川沿いにある自然豊かなこの地域では、米とそばの栽培が盛んに行われています。9月中頃になると、周りの山々を背景に、黄金色に染まった稲と白いそばの花が一面に広がります。

なかかすお 16 中粕尾

とちぎの田園ふるさと風景百選

和田用水ホタルの里

中粕尾では、「ホタルの里親水公園」を拠点として、都市住民と農家の協働による様々な生態系保全活動が行われています。



ホタルの里 菜の花畑

ホタルの里では、毎年4月に「菜の花交流会」が開催され、生きもの観察や小松菜の花芽摘み、新鮮な山野草の調理・昼食会などが行われます。



和田用水で生きもの調査

思川から取水する和田用水には、ゲンジボタルをはじめとした多種多様な生きものが棲んでいます。



県西部、足尾山地地蔵岳を源とする思川の上流にある鹿沼市 中粕尾。杉や檜が連なる緑の山々や清らかに澄んだ川の流れば、訪れる人々の心を慰めてくれます。毎年6月には、薄緑色の鮮やかな光を放つ無数のホタルが夜空に飛び交い、幻想的な世界が広がります。

とちぎの田園ふるさと風景百選

17 永野

小学校とそば畑

刈取りを終えたばかりのそば畑に、地域の将来を担う子どもたちの元気な声が聞こえてきます。



永野の野州麻

野州麻は鹿沼市をはじめ足尾山地東南麓一帯で生産された麻をいい、栽培面積が全国の9割を占める本県の伝統的特産品です。夏の暑い時期に行われる麻の収穫は地域の風物誌となっています。



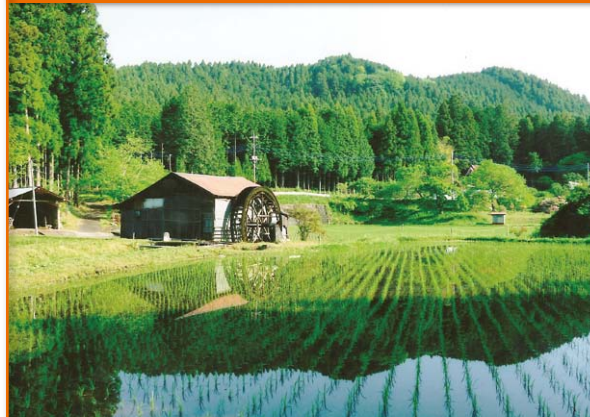
県西部、百川溪谷を源流とした永野川沿いにある集落、鹿沼市 永野。麻の名産地であるこの地域は現在も日本一の生産量を誇り、「野州麻」という国産最高品質の麻ブランドとして全国に知られています。また、古くからのそば処としても有名で、遠方から多くの人々がこの地を訪れます。

18 大室

とちぎの田園ふるさと風景百選

大室の水車小屋(初夏)

日光市今市地区は全国一の杉線香の産地ですが、大室の豊かな水を利用した水車が今も変わらず杉の葉を挽き続けています。田園風景の中に響くのどかな水車の音とせせらぎは、私たちに郷愁と安らぎを与えてくれます。



大室の水車小屋(晩秋)



大室の水車小屋(冬)

大室ダムの春

地域農業の水瓶、大室ダムの周囲には散策路が整備されており、市民の憩いの場として活用されています。春には数多くの種類の桜が次々と咲き乱れ、美しい風景を演出しています。



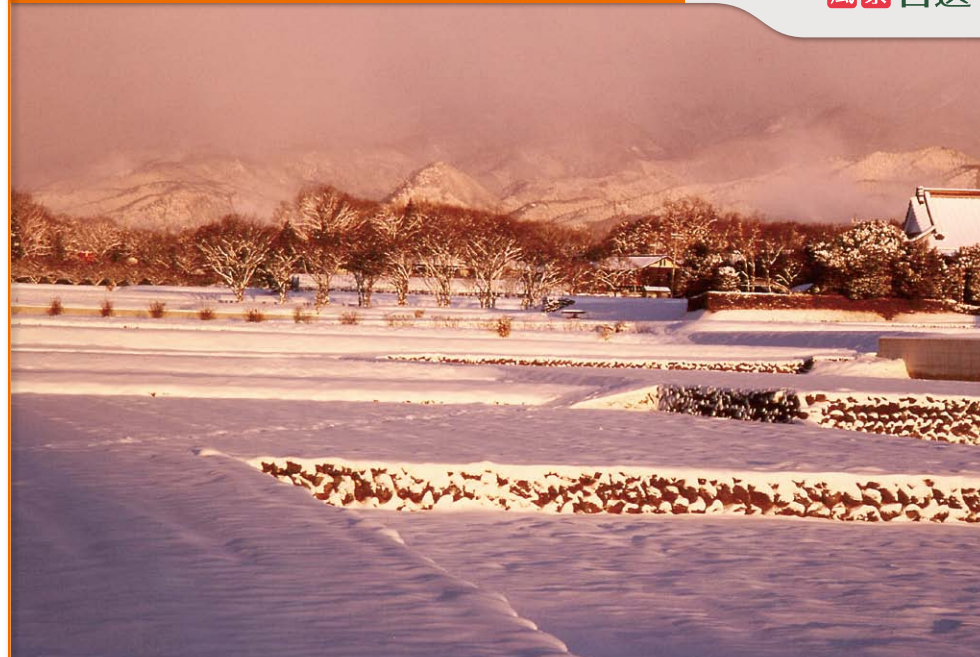
県北西部、日光市今市の市街地から約5km東にある集落 大室。地区中央にある「前山」の散策路を登ると、日光連山を背に大室ダムと静かな農村風景が広がります。北東部にある「大山」からは湧水が湧き出ており、山の麓に鎮座する大室たかお神社を通り集落内を潤しています。

## 百年先まで残したい萱葺き屋根の農家

古色蒼然とした萱葺き屋根と、ひまわり、稲穂のコントラストがとても美しい農村風景です。



県北西部、日光市今市の市街地から北へ約7 kmに位置する日光市小百。地区の西側には板穴川、中央には小百川が流れる自然あふれる集落です。この地域では、村おこしによるそば組合が設立され、地粉を使った「小百田舎そば」として人気を博しています。



## 輝く瞬間

早朝の朝焼けに輝く雪の田園風景はなんととも幻想的で美しい情景です。

## 今市用水 円筒分水井

今市用水円筒分水井は昭和28年に完成した分水施設で、大谷川から取水した水を井筒の円周に沿って設けられた23のゲートで配分し、農業用水や上水道として利用しています。



県北西部、東武日光線・上今市駅周辺に位置する日光市瀬川。近くには中禅寺湖を水源とする清流大谷川が流れており、そこから取り入れられた水は農業用水や飲料水として使われています。地区の西部には、豊かな自然を活かした日光だいや川公園があり、家族連れなど多くの人たちに利用されています。



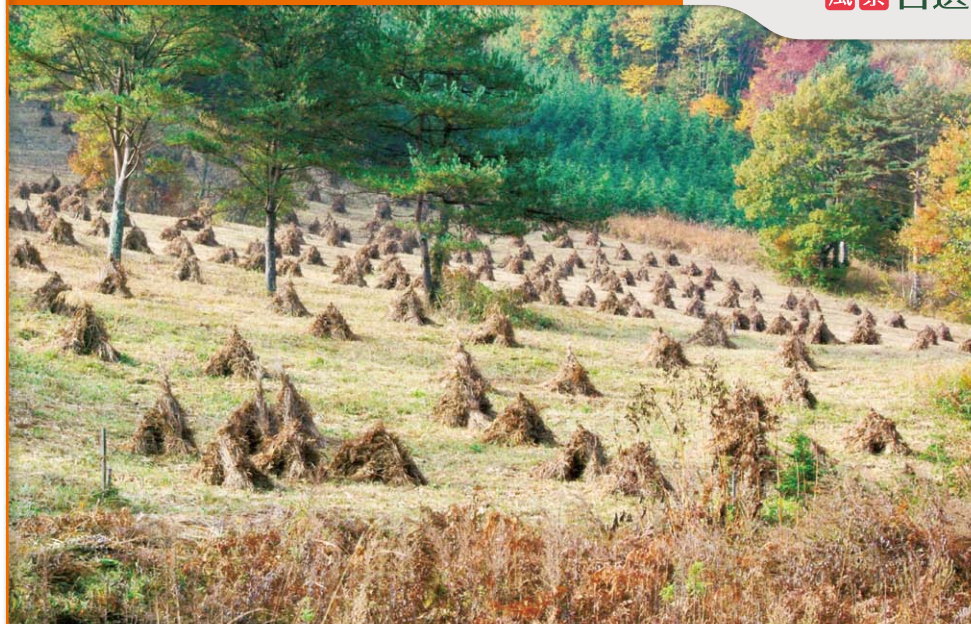


木こりの見る風景

間伐の隙間から見える山里は雪山とのコントラストが美しく、明るくきれいで生活感に溢れています。



県北西部、日光市の南部に位置する南小来川。山姿が美しく板荷富士とも呼ばれる笹目倉山の麓にある集落です。谷あいの渓谷には清流黒川が流れ、春には新緑、秋には紅葉の美しい風景が作りだされます。かつてこの地には、日光開山の祖として知られる勝道上人が訪れ、山林修行の日々を送ったとされる歴史があります。



刈り干しのある山里

紅葉が始まる時期、森林の斜面を利用した採草場では、牛の餌や敷草に使う萱(かや)などの草が刈りとられ、「萱ぼっち」といわれる干し草の山が作られます。



県北西部にある山間の集落、日光市 土呂部。国立公園に指定されているこの地域は、森林や渓谷などの美しい自然景観に恵まれ、水芭蕉の群生地では毎年 5 月頃に可憐な花を咲かせ、訪れる観光客の目を楽しませています。また、昔から林業とともに和牛の飼育が盛んで、地区内には森林を利用した多くの放牧場があります。



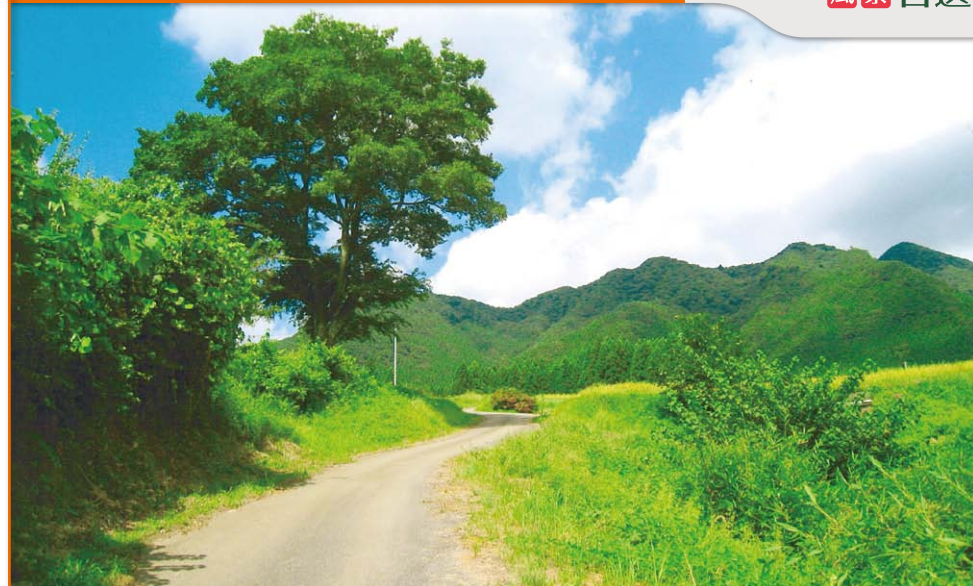


### 獅子舞の里

野門の獅子舞は関白流の一人立三匹獅子舞で、悪病退散、五穀豊穡を祈願し鎮守祭礼の際に舞が奉納されます。祭りの開催時には8割もの若者が帰郷し、800年の歴史を支えています。



県北西部、鬼怒川の上流にある山間の集落、日光市野門。平家落人伝説が語り継がれるこの地域では「平家高原民宿村」として村おこしが進められ、多くの民家が民宿を営んでいます。山深い風情を味わいに、毎年多くの観光客が訪れます。



### 棚田のある風景

「残したいとちぎの棚田21」にも選定された「本宿・鳥居戸・西の棚田」は、地域の努力によって緑豊かな美しい景観が保全されています。



県北西部の山岳地帯にある日光市藤原。川治温泉や龍王峡があり、観光業が盛んな地域です。地区内を流れる鬼怒川沿いには会津西街道が通り、古くから人々の往来が盛んでした。鶏頂山を中心とする高地では、夏でも冷涼な気候を活かしたほうれんそう、だいこん等が栽培されています。